

Campus News

静岡理工科大学 広報誌 [キャンパスニュース]

2014

7

Vol.44

特集

- 学長、学事顧問挨拶
- 浜松市・静岡市との連携協定の締結
- 鈴与海外留学奨学金の創設



スベリ込みセーフ!?

平成26年6月21日(土)「学長杯ソフトボール大会」を開催しました。当日は晴天に恵まれ、普段勉強に励んでいる学生も、汗をかきながら熱い戦いを繰り広げました。



静岡理工科大学

輝く未来へ
はばたく力を





新学長挨拶

きらりと輝く大学を目指して

学長 野口 博

4月から静岡理工科大学の学長に着任しました。静岡県に暮らすのは初めてですが、キャンパスは、新緑の茶畑や緑の丘に囲まれ、気候も温暖で、大変暮らしやすく感じています。

理工学分野は、ものづくりから、仕組み、企画や発想等のことづくりを含むようになり、後者は革新的な技術開発に必須なものとなっています。このような社会における理工学の流れの変化の中で、自主性を持って活躍できる技術者の育成が本学に求められています。

本学は、学生、教職員に加え、保護者の方々、6,600名に達する卒業生の同窓会員、企業の方々、さらには本学の立地であり、創設時から多大なご支援を頂いている地域の袋井市民の方々など多くの皆様に、教育・研究・地域連携などの日常的な活動を支えて頂いています。

今後、学生に専門力と人間力をバランス良く身につけてもらうべく、「できる限り具体的な取り組み」にチャレンジすることを目標に、「きらりと輝く大学」を目指します。今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

地域と共に輝く未来を!!

学事顧問・名誉学長 荒木 信幸

大好きな静岡理工科大学とその周辺地域のために、もうしばらくの間、お役にたつ職務をいただき、心新たにしているところです。

思えば、平成18年9月から今年の3月末日までの7年7ヶ月の間、学長として、楽しく、愉快地大学の運営に携わることができました。

おかげさまで、学生が自ら学ぶための教育改革に早い時期から着手することができましたし、「先端機器分析センター」や「やらまいか創造工学センター」の設置・建設を含む開学20周年記念事業などを進めることができました。これは、大学の教職員はもとより、地域の方々の心温まるご支援・ご協力があったればこそのごことです。厚く御礼申し上げます。

引き続き、野口新学長のもとで、地域連携活動などをお手伝いし、大学とこの地域の発展のために努力する所存です。今後ともお力添え下さるようお願い申し上げます。

遠州灘

「学問のすゝめ」の冒頭に「天は人の上に人を造らず」という有名な文がある。しかし学生達はこの冒頭文のみ知っており、その後続く文を知ってはいなかった。要約すると「人は生まれながら平等であると言われているが、実際のところ大きな差がある。それは、学んだか学ばなかったかによるものである。学問を身につけ、自分の役割を果たし独立すべき。自由とわがままは異なる。学問とはその分限を知ることである。」と続いている。学生達は就職して様々な分野で活躍することになるであろう。「学問のすゝめ」で述べられているように学生達には、自分の行いを正し、学問を志し知識を広め、各自の立場に応じて才能と人格を磨くことのできる社会人を目指してほしいものである。(N)

浜松市・静岡市との連携協定の締結

本学は平成3年4月の開学以来、産学官連携により、地域における様々な取り組みに参画してきました。平成25年度、本学がいままで取り組んできた地域における活動内容などについて検証を行い、より一層、行政とともに地域における活動を展開・拡充するための仕組みづくりについて検討を重ねてきました。

平成25年6月、「袋井市との包括連携協定」の締結、同年11月、「静岡県との研究分野での連携協定」を締結しました。

更に今般、平成26年3月、本学の在学生や卒業生が多く在住しており、また、本学教員と共同研究・開発を実施している企業が多く所在している「浜松市」及び「静岡市」との間で連携協定を締結しました。

浜松市との産学官連携に関する協力協定の締結

浜松市と本学が緊密な連携・協力のもと、双方が有する資源や機能等の活用を図ることで、浜松の市内企業への技術支援や人材育成などを推進し、企業の技術力向上や地域産業の活性化に貢献することについてお互いが合意をし、平成26年3月19日（水）、産学官連携に関する協力協定を締結しました。

協力協定の内容は、（1）産学官連携推進事業の実施、（2）人材育成事業（次世代人材・産業人材）の実施、（3）人的交流を主な柱としており、今後、地域産業の発展に貢献する事業を双方協働で展開することとしています。



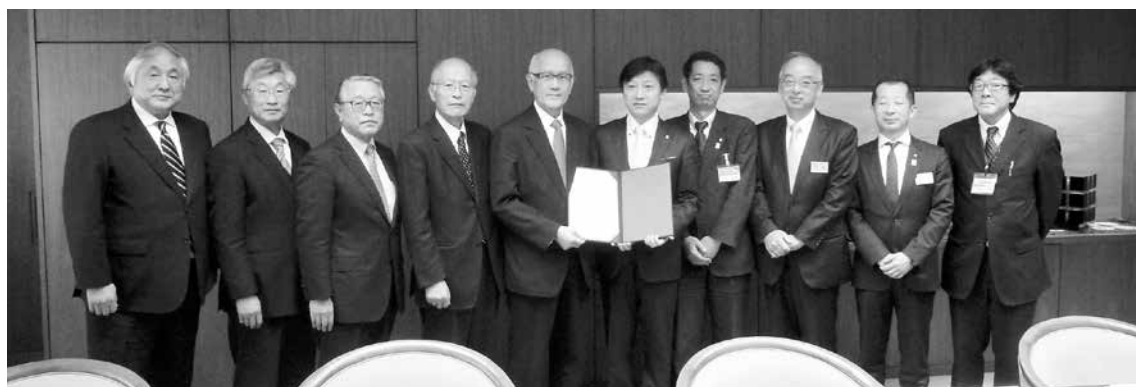
協定締結後、握手を交わす鈴木康友浜松市長(左)と荒木信幸学長(当時)

静岡市との連携強化に関する協定の締結

本学の母体となる学校法人静岡理工科大学は、本学の外、静岡県内に中学校2校、高等学校2校、専門学校6校、日本語学校1校を設置しています。そのうち、静岡市には、中学校、高等学校を各1校、専門学校を3校設置しており、これら設置校は、静岡市と連携した多様な取り組みを実施してきております。

今回、これまでの連携活動を踏まえ、大学を含む本法人設置校が一丸となり、静岡市の産業経済分野における人材育成及び地域産業の活性化を一層強固にすることについてお互いが合意をし、平成26年3月17日（月）、連携強化に関する協定を締結しました。

本学は、静岡市の市内企業との連携強化を図るため、大学見学会・技術相談会などを通して更なる交流を深め、共同研究・開発を推進することとしています。



田辺信宏静岡市長(右から5番目)と外山浩介法人理事長(左から5番目)

新設奨学制度

「鈴与海外留学奨学金制度」の創設について

鈴与株式会社のご支援を受け平成25年度、グローバル人材育成の一環として、本法人の設置する各校に在学する学生・生徒が異文化を理解し、これからの国際社会での素養を身につけようとする自発的な活動を奨励することを目的とした「鈴与海外留学奨学金」が創設されました。原則として自発的に4週間以上海外に滞在をする者を対象に、航空運賃代（1人あたり上限20万円）を奨学金として交付するという制度です。今回、はじめての募集が行われ、本学より1人目となる奨学生が誕生しました。

グローバル化が加速するなか、留学経験の必要性を感じながらも、実際には経済的負担などにより渡航を思いとどまるのが現状です。この支援制度を活用して、ひとりでも多くの学生が留学を決意し、夢の実現への一歩を踏み出してくれればと願っております。

本制度を利用した奨学生からの声

寺本 勇太郎（機械工学科3年）

留学先 南台科技大学（台湾）

渡航期間 平成26年3月3日～4月2日

今回、燃料電池に関わる知識を得ることのほか、語学力向上や自分の視野を広げることを目的に海外留学を志望しました。渡航目的に合った受け入れ機関を検討するにあたり、国際交流センターの十朱センター長に助言をいただき、台湾の南台科技大学へ留学することとなりました。約1ヶ月の間、fuel cell研究室にて、インホイールモーターの特性や構造を学んだうえ、モーターの負荷、耐久実験を行いました。電動バイクに取り付けた状態でローラーを使い最適な電圧や持続性をグラフにまとめました。初めて実践的な体験ができ、実験データ集計など基礎的なことが学べました。また、研究や生活を通して、現地の学生とコミュニケーションを取るためのツールは英語でした。

留学開始直後は、慣れない生活にストレスを覚えました。周りの方々に助けられ自分自身の気持ちも変化していきました。帰国する頃には、英語のス

ピーキングとヒアリング力が向上したことを実感できました。また、台湾の方の温厚で友好的な人柄に、日本で得た情報が全てではないと身をもって学び、この留学体験がきっかけとなり、また別の国に留学へ行きたいという意識も芽生えました。

学生の間に貴重な経験ができたことは、ご支援のおかげだと感謝いたします。ありがとうございました。



平成26年度 第1回本制度採択者 決定!!

加藤 未歩（物質生命科学科3年）

留学先 国立高雄応用科技大学（台湾）

渡航期間 平成26年8月20日～9月10日

増田 あずみ（物質生命科学科3年）

留学先 国立高雄応用科技大学（台湾）

渡航期間 平成26年8月10日～9月21日

森 郁乃（人間情報デザイン学科3年）

留学先 Canadian College of English Language（カナダ）

渡航期間 平成26年8月10日～9月20日

授業の紹介



画像工学とは読んで字のごとく「画像に関する工学」で、例えばカメラやテレビなど撮像技術、撮影した映像をどのように伝えたり記録したりするかという伝送技術、画像を加工したり人の顔の位置を検出する等の画像処理技術、など非常に幅広い技術を含んでいます。成長著しい分野なので、皆さんが普段目にするテレビやスマートフォン

の映像や画像は先端技術の塊でもあるのですが、実はそれらは本講義が対象としている電気電子工学科の1、2年次で勉強する発光・受光ダイオードやフーリエ変換、3年次に学ぶデジタル信号処理などの延長上にある技術の集合体なのです。この講義では上記の画像に関係する様々な技術について学ぶとともに、メインでは実際に自分でプログラミングをして画像処理を体験します。授業で学んだ理論を画像処理という目に見える形で体験して理解を深めようという試みです。

担当教員：電気電子工学科 講師 武岡 成人



コンピュータシステム学科 松田研究室

おじゃまします。

よく音楽には国境が無いと言われるそうですが、研究にもそのような一面があると思います。私の研究室ではサイバークラッシュ、看護技術、数学教育など様々な分野のデータを数学的に解析するための研究を行っています。この世の中は、あらゆる情報で満ちあふれています。中には人間にとって分かり易いものもあれば分かりにくいものもあります。特に、人間にとって分かりにくい情報の中に重要な情報が含まれていることがあります。そのような重要な情報を引き出すためには数学的技法が必要となり、そのような数学的技法を作るために新たな数学を創造することが大切になります。数学を介して様々な分野との繋がりが出来るというのはとても面白いことだと思います。



研究室訪問

第32回

研究室学生からひとこと

大沢 泰貴 (システム工学専攻1年)

私は数学に興味を持っており、松田先生の指導のもと、グレブナー基底やマルコフ基底などの計算代数幾何について勉強しています。学部生は全員で数学教育について研究していて、一緒に研究する時間の経過とともに互に打ち解け合い、議論も活発になっていくのを感じます。とても自由な雰囲気の研究室ですが、研究室生全員がそれぞれの目標をもって研究しています。また静岡大学の研究室と機械学習の合同勉強会も開催しており、担当の学生が順次発表し議論する形式で進めています。

松田 健先生のプロフィール

大阪府出身。博士(理学)。東京理科大学、および東京工業大学で学び、その後サイバー大学の講師を経て本学に赴任し、現在に至っています。もともとの専門である数学を活かし、様々な分野の応用研究をおこなうと共に、その研究を進めるために必要となる数学の研究をおこなっています。これからも分野の垣根を越えた研究をしていきたいと思っています。

公開シンポジウム

1月25日(土)に、「3Dプリンタでものづくりがどう変わるのか」をテーマに平成25年度公開シンポジウムを開催しました。当日は、182名もの参加者がありました。

芝浦工業大学デザイン工学部教授の安齋正博氏による基調講演の後、「なぜ今、3Dプリンタなのか」をテーマにパネルディスカッションを行い、参加者などから多くの質問が寄せられました。



SIST企業セミナー

1月28日(火)・30日(木)の2日間、本学の体育館においてSIST企業セミナーを開催しました。

最近の景気動向を反映してか、2日間で昨年を上回る158の企業・団体が参加し、延べ551名の学生が人事担当者との面談に臨みました。

参加企業・団体からは、就職活動に積極的な学生が多いとの意見を多くいただき、参加した学生は就職活動に向けて、順調なスタートを切ることができました。



記念植樹

3月7日(金)に、卒業生代表が大学近くの愛野公園の道を挟んだ東側へ「ハクモクレン」を記念植樹しました。この植樹は、4年間お世話になった袋井市民へのお礼として卒業生から募った募金で一期生から毎年行われ、今回で20本目の植樹になりました。



卒業式

3月15日(土)に、平成25年度卒業証書・学位記授与式を挙行し、学部生、大学院生合わせて304名が卒業しました。

卒業生を代表して電気電子工学科の伊藤侑暉さんが「静岡理科大学で得た知識と経験を活かし、創造力と積極性を持って社会と技術の発展に貢献したい」と力強く誓いました。



入学式

4月3日(木)に、平成26年度入学式を挙行し、学部生、大学院生合わせて368名が入学しました。

新入生を代表して、理工学部物質生命科学科の仲倉佳那さんが「勉学に励み、様々なことに自発的に、そして真摯な姿勢で取り組み、学生生活が実りあるものとなるよう努力し続けます」と宣誓しました。



公開講座

5月3日(土)、6月21日(土)に、「平成26年度前期公開講座」を開催しました。

第1回は、「中小企業の未来を考える」をテーマに本学総合情報学部客員准教授で株式会社シーポイント浜松本部長の佐野憲氏と法政大学大学院政策創造研究科教授坂本光司氏が、第2回は、「世界に誇る日本の技術」をテーマに本学物質生命科学科の小林久理眞教授と浜松ホトニクス株式会社営業本部国内統括部渉外グループ主任部員の犬塚智也氏が講演を行いました。



総合防災訓練

5月23日(金)に、本学にて教職員と学生による「総合防災訓練」を行いました。訓練には学生、教職員ら872名が参加し、避難訓練や煙体験訓練、グラウンドにて消火活動を実施しました。また、今年度は地震体験訓練も実施しました。特に地震体験訓練に参加した学生からは、「貴重な体験ができたので今後の防災に生かしたい」など、前向きな意見が多く寄せられました。



チャレンジハイク

5月24日(土)に、毎年恒例のチャレンジハイク(クラブ連合委員会主催)が開催されました。今回は天候・気温に恵まれ、絶好のハイク日和でした。

大学→法多山→愛野公園→可睡斎→袋井市街→大学の約20kmに学生90名がチャレンジし、全員完歩しました。





狩猟と有害鳥獣駆除に若い力を

袋井市猟友会会長
袋井市スポーツ協会クレー射撃部長
永田 進さん

最近鳥や獣による農林漁業の被害が度々報道されるようになりました。袋井市内でイノシシが出たとの話は少し前まではありませんでしたが、最近、宇刈地区や村松地区また海岸に近い笠原地区にまで出没し、稲やみかん・いも類等に被害が出ています。これは、全国的に都市化による原野の減少で、里にイノシシ等出没するようになったことや、ハンターの高齢化により、猟友会が衰退の一途を辿っているためです。このままでは、10年先にはハンターも半減し活動もままならない時代となり、有害駆除も思うように出来なくなることも考えられます。

地域貢献にはいろんな手法や方法があると思いますが、趣味を通して出来ることが無理することなく活動出来るのではないかと思います。是非理工科大の若い学生も趣味としての射撃や狩猟に興味を持っていただき、有害駆除も地域貢献の一端を担う事になりますので、参加して頂く事を期待します。



大学を活かしたまちづくり

袋井市秘書広報課
鈴木 啓介さん

静岡理工科大学と本市とは、開学以来、市民体験入学をはじめ、産学官の連携を推進し、情報交換会など数多くの事業を手掛けてまいりました。

昨年6月には、これまでの取組を礎に、より幅広い分野での相互協力関係の確立を図ることを目的とした「包括連携に関する協定」を締結し、①公共交通の最適化研究、②情報モラル教育の推進、③市ホームページの見直しなど地域の課題解決に向けた具体的な取組がスタートいたしました。

これに加え、本年度は袋井のまちを学ぶ「地域学」講座を新たに開設し、学生の皆さんと地域の課題を共有し、今後の袋井市の将来像を描く作業に若い力（視点や価値観）を活用していきたいと考えております。

学生の皆さんには、袋井の新しい発見やこれまでにない施策の新たな切り口など、自らのアイデアを大いに披露してもらいたいと期待しています。



株式会社赤阪鐵工所
池谷 友太さん
(機械工学科第14期卒業生)

活躍する卒業生

私の勤務する(株)赤阪鐵工所は、主に船舶用ディーゼル機関の製造を行っています。その中で私は、4ストロークディーゼル機関の新機種開発設計、試運転計測、就航後の技術的フォローを行っています。設計に関しては燃費、排気ガス性能を満たすことも重要ですが、耐久性、整備性を高めることも重要なことです。船に訪船し、機関の使用状況の確認や、機関長などからの聞き取り調査を行うこともあります。厳しい言葉を頂くこともあります。しかし、自分の設計した商品がお客様の手に届き、社会の役に立っているわけですから、やりがいのある仕事だと感じています。

学生時代は学生フォーミュラの部活に所属していました。そこで、実際にものを作ったり、企業を訪問しプレゼンや打合せを行ったりしましたが、就職後の業務に通じるものであったと思います。

実際に手を動かしてものを作るという経験は図面を書く上でも貴重なものです。作りやすいもの、使いやすいものというのは実際に作業してみないと判らないことが多いです。設計という仕事の中では、たくさんの方々と関わりを持つこととなります。その中で自分の意見を述べることも必要ですし、関係者の意見をまとめることも求められます。学生フォーミュラに参加し、多くの方と協力し、ものづくりを行えたことは現在の仕事にも生きています。

大学では、「やらまいか」という言葉がありますが、赤阪にも「やらざあ」という言葉があります。どちらも「やってみよう！」という意味ですが、私もこの精神で今後もより良いものづくりを目指して挑戦していきたいと思っています。

入試広報 NEWS

静岡理工科大学を詳しく知ろう！

本学に関心をもたれた皆さん。

さらに一歩踏み込んで、静岡理工科大学に詳しくなれるチャンスがあります。

■Webサイトから知ろう！

今春リニューアルした「受験生サイト」では、オープンキャンパスや大学説明会、Weekday大学見学会などの「進路イベント」情報や各都市で行われる「進学相談会(会場ガイダンス)」への参加状況、「学部・学科情報、入試情報、学費情報」など受験生目線に立ったわかりやすい内容を提供しています。

*受験生サイト (<http://www.sist.ac.jp/navi/index.html>)



■進路イベントから知ろう！

「大学説明会」では本学の特色などの概要説明や研究施設などの見学、入試情報などを提供しています。

また、祝日開催の「Weekday大学見学会」では、普段の授業や研究の様子をご覧いただくことができます。

～今後の日程～

- 大学説明会 9月14日(日)10:00～12:30 「テーマ:志望学科を最終チェック!」
- Weekday大学見学会 10月13日(祝)・11月3日(祝)・11月24日(祝)10:00～12:30

■進学相談会(会場ガイダンス)から知ろう！

大学・短大・専門学校各校が参加し、各都市で行われる「進学相談会」では、本学入試広報スタッフが、学校情報の紹介はもちろんのこと皆さまのいろいろな質問にも個別にお答えします。

開催日程と会場はこちらのWebサイト (<http://www.sist.ac.jp/ex/ex04/advisement/index.html>) でご確認くださいませ。お近くの会場で開催される際は、ぜひ本学ブースへお立ち寄りください。お待ちしております。

2015年度 入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合否通知日
一般推薦	平成26年10月14日(火)～11月4日(火)	11月15日(土)	11月21日(金)
一般前期(A) [3教科型]	平成27年1月5日(月)～1月27日(火)	2月3日(火)	2月14日(土)
一般前期(B) [2教科型]		2月4日(水)	
前期センター試験利用入試(A) [3教科型]	平成27年1月5日(月)～1月30日(金)	2月5日(木)	
前期センター試験利用入試(B) [2教科型:総合情報学部のみ]		《試験日自由選択》	
一般後期 [2教科型]	平成27年2月16日(月)～3月5日(木)	3月12日(木)	3月20日(金)
後期センター試験利用入試(A) [3教科型]	平成27年2月16日(月)～3月9日(月)	本学独自の個別試験なし	
後期センター試験利用入試(B) [2教科型:総合情報学部のみ]		本学独自の個別試験なし	

平成26年度 学年暦(学部・大学院)

前期定期試験	7月28日(月)～8月1日(金)	冬期休業	12月26日(金)～1月4日(日)
夏期休業	8月2日(土)～9月24日(水)	後期定期試験	1月27日(火)～2月2日(月)
前期追・再試験対象者発表	8月20日(水)	後期追・再試験対象者発表	2月12日(木)
前期追・再試験期間	8月25日(月)～8月29日(金)	後期追・再試験期間	2月16日(月)～2月20日(金)
後期ガイダンス	9月25日(木)	春期休業	2月3日(火)～3月31日(火)
後期授業開始	9月26日(金)	卒業式・修了式	3月14日(土)
大学祭	10月25日(土)・26日(日)		

サークル紹介

宇宙開発研究同好会 (スペースプロジェクト)

部長 町 元成 (電気電子工学科3年)

宇宙開発研究同好会 (スペースプロジェクト) は、現在5名が所属し、一般社団法人宇宙エレベーター協会が主催する、『宇宙エレベーターチャレンジ』(高度1,200mに係留したバルーンから地上までつないだベルトを連続昇降する昇降機の数値、重量、効率、到達高度、制御能力等を競うコンテスト)への参加に向け活動しています。

また、希望する下級生に対し実用的なメカトロニクス(電子回路、マイコンによる制御、機体設計、機械加工等)の講習を週1~2回のペースで行っています。この講習により、初心者であっても短時間で効率良く昇降機の制御・設計・製作能力を身に付けることが可能となります。

昨年度の活動としては、第5回宇宙エレベーターチャレンジの視察、無線制御型 試作二号機の製作、国際ロボット展の視察、電子回路及びマイコン演習を主体とした合宿を行いました。

本年度の活動としては、自動制御型 正式採用一号機の製作、それによる第6回宇宙エレベーターチャレンジへの参加、3Dプリンタを用いた簡易量産試作機の試作、三菱重工株式会社への視察を行う予定です。



スポットライト がんばれ!理工科大生



松浦 隆

(人間情報デザイン学科3年)

私が大学生活を振り返ってみると特に重要視していたことがあります。それは、物事に真摯に打ち込む姿勢を大切にすることです。私がそのことを重要視していたのは、中学時代の経験が影響しています。

私は中学生の頃に不登校を経験し、そのことが自分自身にとってハンデとなっていました。しかし、少しずつ自分が成長していく中で、そのハンデは私に周りに追いつこうと奮起させる気持ちを起こさせたのです。それからは、周りの人に、追いつくには自身がどうすべきかを考えました。その中で、物事に真摯に打ち込むことが必要であると気づき、実践することを意識するようになりました。具体的には、授業中に分からなかった事をそのままにせず、理解していくこと、友人と協力し助け合い、理解を深めることなどです。それらは、当たり前なことでもとても些細なことのように感じますが、日々続けることによって大きな力になると私は感じています。そして、私は大学生活でそれらを実践し、優秀賞を受賞するほどの結果を出せるようになりました。大学は、これまでの教育機関と異なり、自身の行いが直接結果として返ってくる場所です。そのような環境で今回この名誉ある賞を頂けた事は、私の中の自信に繋がりました。

今後は、物事に真摯に取り組む姿勢を忘れずに、自身の興味がある学問について積極的に取り組み多くの知識を吸収し、理解を深めたいと思います。

同窓会 だより

ホームカミングデーの開催

本年も、ホームカミングデーを開催します。昨年は、同日開催している大学祭が台風の影響で中止となった中でホームカミングデーを開催したにもかかわらず、多くの同窓会員と、そのご家族の皆さんにご参加いただきました。同窓会の恒例行事として定着していることに心強く感じています。

さて、ホームカミングデーは第14回を迎えますが、今回もコミュニケーションゲームや豪華商品が当たる大抽選会を企画しています。同窓会員の皆さんのご参加をお待ちしています。

◆日時:平成26年10月26日(日) 11:00~12:30<大学祭2日目> ◆会場:本学食堂(体育厚生棟1階) ◆参加料:無料

同窓会ホームページ、facebookについて

同窓会では、ホームページの他、専用のfacebookを開設し、同窓会員や同窓会活動の近況など発信しています。ご覧いただき、同窓生間の交流の手段としてもご活用ください。また、是非「いいね!」をよろしくお願ひいたします。(同窓会HPアドレス <http://www.sist.ac.jp/dousoukai/>) (同窓会facebook <https://www.facebook.com/sist.dousoukai>)



後援会 だより

父母懇談会の開催

◆日時:平成26年10月25日(土)<大学祭1日目> ◆会場:本学300講義室(学生ホール3階)

父母懇談会では、午前に全体会と学科別懇談会、午後個別面談(希望者のみ)を開催します。なお、詳細なご案内は9月にお送りする成績表に同封させていただきます。

人事異動

●平成26年4月1日付採用



学長
野口 博

専門分野 建築構造、耐震構造、鉄筋コンクリート構造、工学教育、技術者教育
略歴 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。工学院大学教育開発センター主幹・特任教授、芝浦工業大学SIT総合研究所客員教授を経て本学学長に就任。千葉大学名誉教授。
趣味 スキー、パソコン、インターネット



理工学部
機械工学科
特任教授
服部 敏雄

専門分野 材料力学、構造力学、製品設計工学、製品事故解析
略歴 東京工業大学理工学研究科機械工学専攻博士課程修了。岐阜大学工学部機械システム工学科教授を経て本学特任教授に就任。岐阜大学名誉教授。
趣味 日曜大工、ガーデニング、家庭菜園、サイクリング



理工学部
機械工学科
特任講師
田村 博

専門分野 航空工学、ヘリコプタ工学、飛行力学
略歴 日本大学理工学部機械工学科航空宇宙専修コース卒。日本ラジコン模型工業会会長、日本産業用無人航空機協会理事を経て本学特任講師に就任。
趣味 パラグライダー、ドライブ、映画鑑賞



専門分野 教職教育
略歴 早稲田大学第一文学部卒。静岡県立磐田南高等学校校長を経て本学特命准教授に就任。
趣味 映画鑑賞、旅行

教育開発
センター
特命准教授
伊藤 律夫

お疲れ様でした(平成26年3月31日付退職)

学 長 荒木 信幸
機 械 工 学 科 教 授 仲野 雄一
コンピュータシステム学科 教授 鈴木 千里

おくりやみ申し上げます

本学初代学部長
(平成3年度～平成6年度)
河合 望さん 88歳
(平成26年4月26日逝去)

市民対象講座の開催が決定しました!!

本学では地域貢献の一環として、市民の方を対象とした講座を開催しております。今年度(後期)の開催が決定しましたので、お知らせいたします。参加料は全て無料です。この機会に是非、本学の講座へご参加ください。

公開講座

幅広い分野について外部の有識者や本学教員が講演を行います。

開催日時 平成26年10月18日(土)13:30～16:30

テ ー マ 自動車の安全と衝突現象を科学する

講 演 1 自動車の衝突運動と衝突工学

講 師 静岡理科大学 理工学部 機械工学科 教授 感本 広文

講 演 2 「ぶつからないクルマ?」スバルが生んだアイサイトの秘密」

講 師 富士重工業株式会社 スバル技術研究所 担当部長 兼
スバル技術本部 技術開発部 担当部長 樋渡 穰氏

定 員 250名(先着順)

SIST体験型講座

中高生から大人まで体験できる「市民参加型」講座です。理科実験や実技、ものづくり体験などを行います。

開催日時 平成26年9月27日(土)9:30～11:30

テ ー マ 手回し発電機付きLEDライト

講 師 電気電子工学科 講師 服部 知美

定 員 15名(申込者多数の場合は抽選)

SISTコロキウム

飲み物を片手に、地域の方々と話題提供者がアットホームな雰囲気サイエンスや昨今の技術動向など、様々なテーマについて対話をします。聴講だけでも参加可能です。

第1回(2部制)

開催日時 平成26年8月22日(金)
18:30～20:00

第1部

テ ー マ 太田川河口で発見された砂礫層は津波堆積物か?

話題提供者 磐田南高等学校地学部

第2部

テ ー マ カエルと環境と体色変化

話題提供者 磐田西高等学校科学部

第2回(2部制)

開催日時 平成26年8月29日(金)
18:30～20:00

第1部

テ ー マ 彫刻を通して袋井の良さを発見する。

話題提供者 袋井高等学校パソコン部

第2部

テ ー マ 可睡斎の「活人剣碑」及び「護国塔碑」について

話題提供者 静岡理科大学 教育開発センター
特命教授 沼倉 昇

第3回

開催日時 平成26年10月3日(金) 18:30～20:00

テ ー マ

3Dゲームとそれを応用した
スポーツ・トレーニングシステムの開発

話題提供者 コンピュータシステム学科 教授 玉真 昭男

第4回

開催日時 平成26年11月21日(金) 18:30～20:00

テ ー マ

食品の安全とは?

話題提供者 物質生命科学科 教授 山庄司 志朗

※シストコロキウムの定員については
各回20名程度(先着順)

●本学で開催する講座は申込制となります。お電話(☎0538-45-0111)または本学ホームページの「イベントお申込み」(<https://www.sist.ac.jp/form/event/>)からお申込みください。

●本学のイベント開催情報をいち早くお届けする「メール配信サービス」を開始しました。是非登録下さい。(<https://www.sist.ac.jp/form/mail/>)

2014静岡学生野球春季リーグ戦 ベストナイン外野手 選出!!

2014静岡学生野球春季リーグ戦において「ベストナイン外野手」に選出され、とても嬉しく思っています。今回のリーグ戦で頑張ってきたことは、チームの目標である「勝ち点」（同一大学から2勝）に向け自分はと思ったらチームの勝利に貢献できるのかを考えながら練習したことです。リーグ戦でのベストナイン獲得は入部当初からの目標でもありましたが、野球はチームプレーが重要であるため個人記録を意識して自分勝手なプレーをするとチームの勝利に貢献できないので、どうすればチームに貢献できるかを考えプレーしてきました。その結果がベストナイン選出に繋がったのだと思います。

この結果に満足せずもっと上を目指していき、次は「静岡学生野球リーグでの首位打者」を目標に努力していきたいと思います。そしてチームの目標「勝ち点」に向けて頑張っていきたいです。



硬式野球部主将
山口 知紀
(機械工学科 3年)

平成26年度優秀賞表彰・学長表彰・学生部長表彰

5月16日(金)に1年間の学業成績が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理科大学優秀賞」の表彰式を行いました。

また、7月16日(水)に優れた活躍や学生の模範となる顕著な成績を上げた学生を表彰する「学長表彰・学部長表彰」を行いました。受賞者は次の通りです。

優秀賞表彰

機械工学科

- 2年生 新井 大奇
堀江 貴博
3年生 井口 恵太
吉林 達弥
4年生 大橋 知弥
仙島 和成

物質生命科学科

- 2年生 足立 混太
中川 雄悟
3年生 市川 亮太
村松 和哉
4年生 秋山 智美
市川 健太

コンピュータシステム学科

- 2年生 坂井 祥太
鈴木 宏
鈴木 光希
望月 晨弘
3年生 川合 雄也
ハーアソライ

4年生 近藤 翔太

- 堤坂 太一
人間情報デザイン学科
3年生 伴野 仁美
松浦 隆
4年生 恩田 里菜
山本 智也

電気電子工学科

- 2年生 鈴木 穰
村田晋士郎
3年生 板羽 嶺
中村 凌
4年生 金原 悠介
佐々木佑樹



学長表彰

宮野公美子(機械工学科4年)
2013年度学生自動車研究会 功労賞

学生部長表彰

山口 知紀(機械工学科3年)
平成26年度静岡県学生野球春季リーグ戦 ベストナイン賞(外野手)
荒井 萌希(人間情報デザイン学科2年生)
第12回静岡県学生弓道選手権大会春季大会 女子個人 準優勝
林 誠一郎(人間情報デザイン学科2年)
第18回全日本拳法道体重別選手権大会(軽量級の部)第3位



役職者紹介

●平成26年4月1日現在

大学評議員

学長	野口 博	電気電子工学科長	小澤 哲夫(教授)
理工学部長	出口 潔(教授)	物質生命科学科長	住谷 實(教授)
総合情報学部長	菅沼 義昇(教授)	コンピュータシステム学科長	玉真 昭男(教授)
学生部長	宮岡 徹(教授)	人間情報デザイン学科長	大相 弘順(教授)
附属図書館長	秋山 憲治(教授)	理工学研究科運営委員長	小川 敏夫(教授)
機械工学科長	益田 正(教授)		

YES長兼 やらまいか創造工学センター長	高橋 久(教授)
工作センター長	土屋 高志(教授)
先端機器分析センター長	吉田 豊(教授)
情報センター長	工藤 司(教授)
教育開発センター長	郡 武治(教授)
国際交流センター長	十朱 寧(教授)

※YES：やらまいかエディケーションサイト

編集後記

本号では、浜松市、静岡市との本学の連携協定の締結を特集しました。世界規模で活躍できる人材や技術の輩出が求められる時代ですが、そのベースには日本、そしてそのまたベースには地域があると思います。その意味でも、本学が率先して静岡を盛り上げる必要があり、教員も自らの知識や技術を還元する必要がありますね。(K)

静岡理科大学キャンパスニュース

平成26年7月31日発行
企画・編集・発行/静岡理科大学 大学広報委員会
〒437-8555 静岡県袋井市豊沢 2200-2
TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110
http://www.sist.ac.jp E-mail:c-news@ob.sist.ac.jp

